



since 1954

のむらだより



発行所・医療法人社団 秀和会 野村医院 〒660-0823 尼崎市大物町1丁目9-25 TEL:06-6481-4207 FAX:06-6401-6392 http://www.shuwakai-nomura.or.jp/ 発行人・平野 学



ハウスのむら
恒例

地域生活支援
ハウスのむら
だより

「お花見会」 初の屋外開催

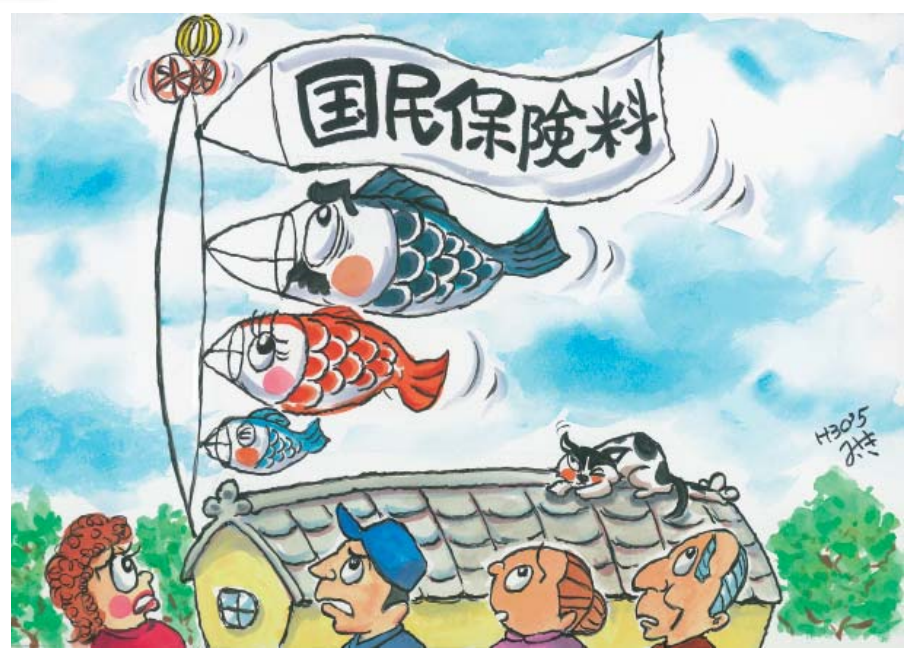


四月四日、ハウス利用者の方々と「お花見会」を開催しました！
ハウスがオープンしてからこれまで四回、天候に恵まれました！

四月四日、ハウス利用者の方々と「お花見会」を開催しました！
ハウスがオープンしてからこれまで四回、天候に恵まれました！
四月四日、ハウス利用者の方々と「お花見会」を開催しました！
ハウスがオープンしてからこれまで四回、天候に恵まれました！

参加者の皆さんも大変喜んでいました。満開の時期が過ぎてしまっていたのが少し残念でしたが、食事をしながらお琴とオカリナの演奏を聴き、優雅な時間を過ごすことが出来ました。三月からデイに来て利用されている利用者さんが詩吟を披露し、花を添えてくれました。

社会福祉士 藤原 節子



屋根より高い…

みさき漁

ふれあい
この四月から、国民健康保険制度(国保)は都道府県単位に一元化され、尼崎市国保の一人当たり保険料(年額)(医療・後期高齢者支援分)は、八七、五〇六円が七二、〇九八円に下がります。でも、まだ「高い保険料」という感じですか。市議会では、白井文市長時代の一般会計から国保会計への繰入金四億円を継続すれば、もっと保険料の引き下げが可能との提案がありました。残念ながら、繰入金を無くす方針が承認されました。二〇一七年度の尼崎市国保会計の決算書では、保険料未収額が約四四億円で、これは、保険料が高くて支払えない市民が居られる証拠。尼崎市の国保加入者は約一〇万人。二〇一三年では約一二万六千人。すると、後期高齢者医療へ加入替えをする市民以外に、保険料を支払う余裕がなくて国保の保険証が貰えない「無保険」の市民が居られるのでは? 「いつでもどこでも」誰でも「最適な医療」を受けられる皆保険制度が綻び出したのでは? と危惧。今こそ、社会保障のひとつである国保を重視する市長や市会議員を選ば、同時に国庫支出金を増額して「高い保険料」の解消に努める政治を求めませんか。(S・Y)